

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

個人投資家さま向け会社説明会

2024年9月12日

株式会社山口フィナンシャルグループ
(東証プライム市場：8418)

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

目次

I. YMFG概要	… 3
II. 業績および2024年度計画	… 12
III. 株主還元	… 20
IV. 【ご参考】YMFGの取り組み	… 26

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

I. YMFG概要

YMfg

株式会社 山口フィナンシャルグループ

本店所在地 山口県下関市

代表者 代表取締役社長CEO
棕梨 敬介

総資産 12兆5,485億円

グループ
従業員数 3,761人
(嘱託および臨時従業員を除く)

上場市場 東証プライム市場
(証券コード：8418)

(2024年3月末時点)

パーパス（使命・存在意義）

地域の豊かな未来を共創する

ビジョン（将来あるべき姿）

地域に選ばれ、地域の信頼に応える、
地域価値向上企業グループ

ブランドスローガン

この世界で。
この街で。
このじぶん。

ブランドスローガン策定の背景

当社グループのパーパスは「共創」の言葉を含んでいるとおり、すべてのステークホルダーの皆さまにご理解・共感いただいて初めて実現できるものです。パーパスの理念を分かりやすくお伝えするため、一人ひとりが「じぶん」を主語にして捉えられるブランドスローガンを設定しました。

ブランドスローガンに込めた想い

「地域」という言葉は、仕事や未来を限定するものではなく、むしろ無限の可能性を秘めていると私たちは考えています。世界と瞬時に繋がる現代において、「この世界のじぶん」という立ち位置で、「この街のじぶん」を考えたとき、地域の一人ひとりの人生が、日本へ、世界へと影響していくことがみえてきます。私たちは、そんな誇りと考え方をもち、皆さまと共に歩んでいきたいという想いを、ブランドスローガンに込めています。

この世界で。

この街で。

このじぶん。

YMfg

>> [YMFGブランドCM特設サイト](#)

ユズの場合

>> # 1はコチラ

>> # 2はコチラ

イノリの場合

>> # 1はコチラ

「健全なる積極進取」の精神を以て、新たなチャレンジを続ける地域金融グループ

● YMFG誕生

- 2006年、山口銀行ともみじホールディングス（もみじ銀行の持株会社）が経営統合しYMFGが誕生
- 2011年には北九州銀行も営業開始し、現在の3行体制を構築

・(株)ドリームインキュベータ
を持分法適用関連会社化

- ・ワイエム証券(株)を設立
- ・ワイエムセゾン(株)を設立

- ・(株)井筒屋ウィズカードの発行済株式全株を取得

- ・ワイエムリース(株)を連結子会社化

- ・(株)YMFG ZONEプランニングを設立

- ・ワイエムリース(株)、(株)やまぎんカード、もみじカード(株)を完全子会社化

- ・ワイエムアセットマネジメント(株)を設立
- ・(株)ワイエムライフプランニングを設立

- ・(株)データ・キュービックを設立

- ・(株)YMキャリアを設立

- ・にしせと地域共創債権回収(株)を設立

- ・(株)イネサスを設立
- ・(株)西瀬戸マリパートナーズを設立

- ・山口キャピタル(株)、地域商社やまぐち(株)、(株)KAIKA、(株)バンカーズファームを子会社化

(2024年4月末時点)

● 140年超の歴史

- YMFGの源流をなす山口銀行の前身である第百十国立銀行は1878年（明治11年）に創業

(山口銀行旧本店)



“新たな地銀ビジネス”の確立に向け、ドリームインキュベータと資本業務提携

- ✓ ドリームインキュベータとはSIB※の推進に向け、2022年12月に連携協定を締結
- ✓ 資本業務提携により幅広い領域で連携を強化することで、事業領域の拡大を図る



ドリームインキュベータ (DI) について

「社会を変える 事業を創る。」をミッションに掲げ、戦略コンサルティングをベースに、社会課題の解決を起点とした産業・新規事業を創出するビジネスプロデュース事業に取り組む

※SIB ソーシャル・インパクト・ボンドの略。民間企業の知見と資金を活用した新しいソリューションを成果連動型で実施することで、国や自治体が抱える社会課題の解決を図る官民連携の仕組み

地域、お客さまの課題解決に資する多彩なグループ企業を有す

コア事業領域

銀行業務

 **山口銀行** 国内 125拠点
海外 3拠点

 **もみじ銀行** 国内 103拠点

 **北九州銀行** 国内 37拠点

証券業務

ワイエム証券 | **YMfg**

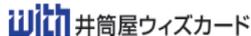
投資助言・代理業務

 **株式会社ワイエムライフプランニング**

保険代理・銀行代理業務

 **山口フィナンシャルグループ
保険ひろば**

クレジットカード業務

 **井筒屋ウィズカード**

ワイエムセゾン株式会社

株式会社やまぎんカード

もみじカード株式会社

投資運用業務

ワイエムアセットマネジメント株式会社

各種コンサルティング業務

ワイエムコンサルティング株式会社

投資ファンド運営業務

 **YAMAGUCHI
CAPITAL**

山口キャピタル株式会社

リース業務

ワイエムリース株式会社

信用保証業務

株式会社ワイエム保証

債権管理回収業務

 **にしせと
サービサー**
Nishiseito Regional Collection Services Inc.

にしせと地域共創債権回収株式会社

シップファイナンス業務高度化支援

 **西瀬戸マリンパートナーズ**
NISHISETO MARINE PARTNERS

不動産賃貸業務

三友株式会社
もみじ地所株式会社

新事業領域

地域に関する課題研究・ コンサルティング業務

 **YMFG ZONEプランニング**

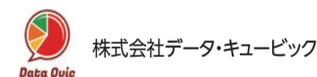
福利厚生代行業務

 **株式会社イネサス**
INESUS

クラウドファンディング業務

 **株式会社KAIKA**
株式会社KAIKA

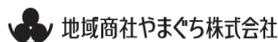
DXコンサルティング業務

 **株式会社データ・キュービク**
Data Quic

有料職業紹介事業

 **株式会社YMキャリア**
YM CAREER

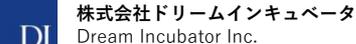
地域産品の卸売・小売業務

 **地域商社やまぐち株式会社**

農業経営に関する業務

 **株式会社バンカーズファーム**
Bankers Farm Inc.

戦略コンサルティング業務

 **株式会社ドリームインキュベータ**
Dream Incubator Inc.

3銀行を中心にグループのシナジー発揮により高品質なソリューションを提供



山口県を中心に
国内 125店舗
海外 2店舗 1駐在員事務所

- 山口県内で盤石な基盤を有す
- 法人取引に強く、東京等の首都圏企業に対しても太いパイプを持つ



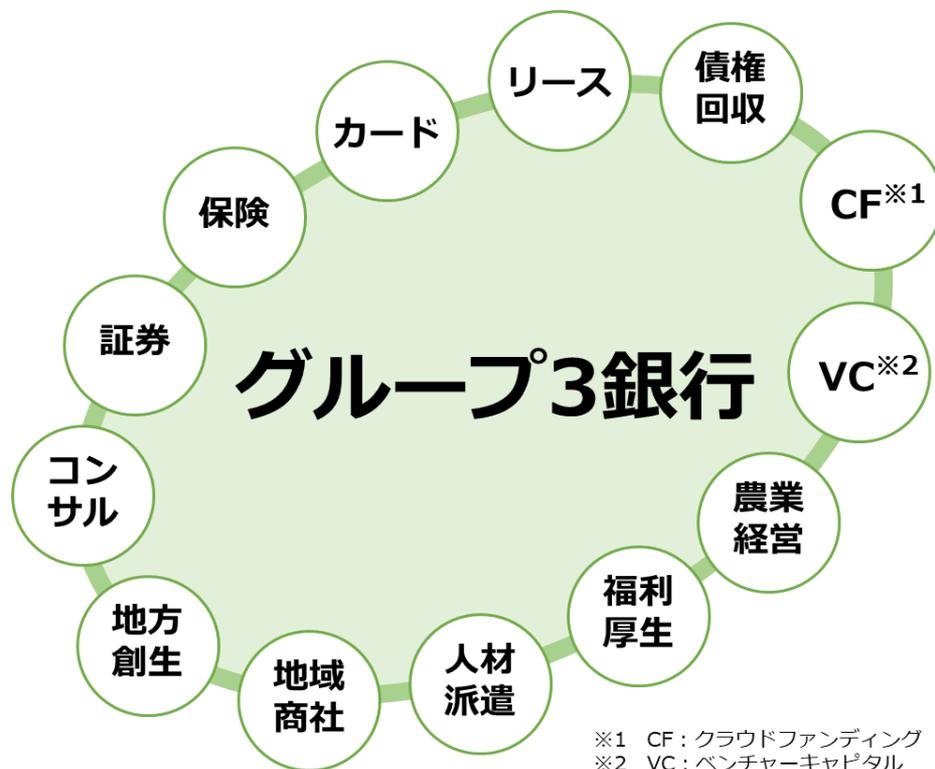
広島県を中心に
国内 103店舗

- 旧相互銀行の歴史を有し、中小企業取引や、ローン・資産運用などリテール取引に強みを持つ



福岡県を中心に
国内 37店舗

- グループ3銀行中で規模は一番小さいが、機動力を活かした運営でスピーディーな対応により、法人、リテールともに取引拡大中



マーケット

山口・広島・福岡の3県を主要エリアとして広域に展開

● 主要エリア人口

912万人

● 主要エリア内総生産

36兆5,904億円

神奈川県と同程度の マーケット

● 人口

922万人 (全国2位)

● 県内総生産

33兆9,055億円 (全国4位)

山口県

➤ 人口	129万人 (全国27位)	➤ 県内総生産	6兆1,481億円 (全国24位)
➤ 県民所得	3兆9,731億円 (全国25位)		
➤ 産業構造	鉄鋼、石油、化学製品などの基礎素材型産業が主な産業		
➤ TOPICS	企業誘致における投資額が過去最高の 約1,229億円 を記録 ※山口県産業労働部 令和6年度産業労働部事業概要より		

広島県

➤ 人口	273万人 (全国12位)	➤ 県内総生産	11兆5,554億円 (全国12位)
➤ 県民所得	8兆3,122億円 (全国12位)		
➤ 産業構造	造船、自動車等の輸送用機械、鉄鋼、生産用機械が主な産業		
➤ TOPICS	23年5月開催のG7広島サミットにおける5年間の経済効果は 1,217億円 見込み ※広島サミット県民会議HPより		

福岡県

➤ 人口	510万人 (全国8位)	➤ 県内総生産	18兆8,869億円 (全国9位)
➤ 県民所得	13兆5,049億円 (全国9位)		
➤ 産業構造	北九州市は日本の近代製鉄業の始まりの街で、素材型産業に加え、非金属/金属製品、一般機械器具などの加工関連業種が主な産業		
➤ TOPICS	北九州市における2023年の企業誘致の投資額が過去最高となる 88件 / 2,565億円 を記録 ※北九州市HP 2024年2月20日視聴個別会見録より		

高い健全性を併せ持つ、全国有数の地域金融グループ

● 全国上場地銀・グループランキング（全73社）

		西日本	全国
総資産	12.8兆円	4位	11位
総預金残高	10.4兆円	4位	10位
総貸出金残高	8.7兆円	4位	9位
株式時価総額	4,285億円	5位	11位

(2024年6月末時点)

● 高い健全性

総自己資本比率 **12.78%**

(2024年6月末時点)

● 外部評価

外部格付情報 (R&I)

YMFG **A+ (安定的)** →

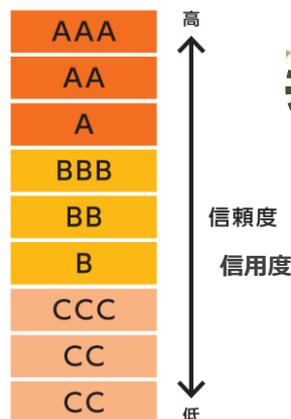
(2024年7月末時点)

《ご参考》

山口銀行 A+ (安定的)

もみじ銀行 A+ (安定的)

北九州銀行 A+ (安定的)



この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

Ⅱ. 業績および2024年度計画

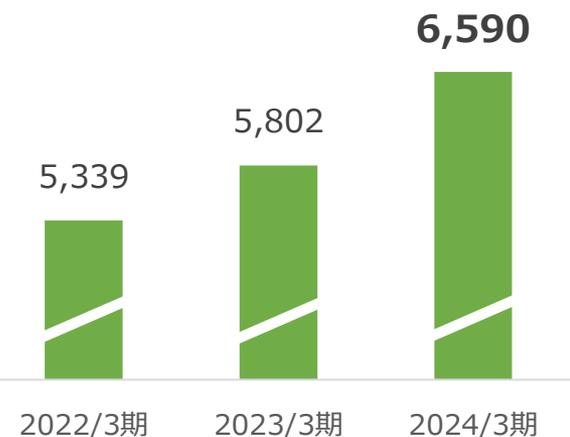
貸出金は10年間で2.6兆円増加

総貸出金平残（3行合算）



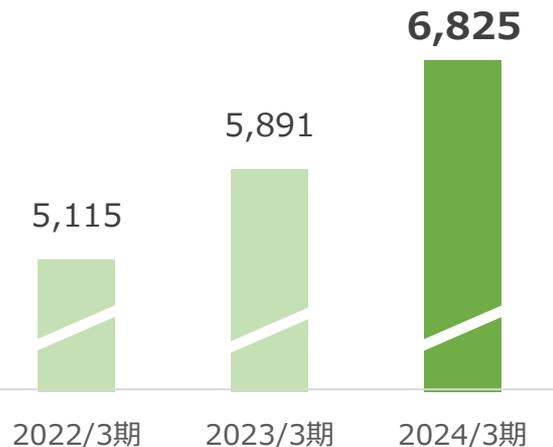
シップファイナンス末残（3行合算）

(単位：億円)



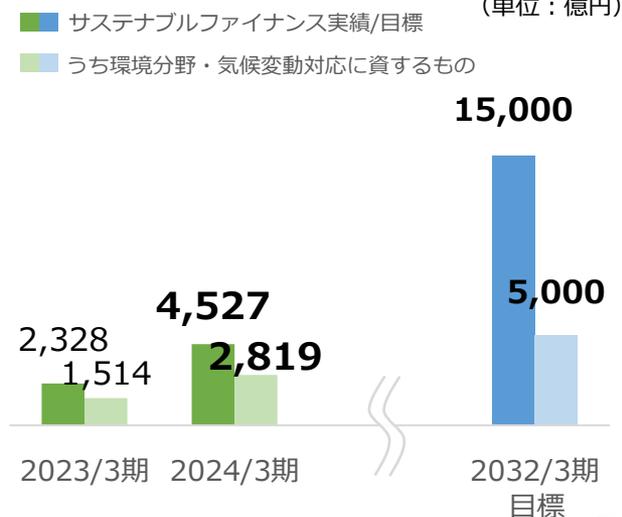
ストラクチャードファイナンス末残[※]（3行合算）

(単位：億円)



サステナブルファイナンス累計実行額（3行合算）

(単位：億円)



■ サステナブルファイナンス実績/目標
■ うち環境分野・気候変動対応に資するもの

※ ストラクチャードファイナンス末残にシップファイナンスは含まず

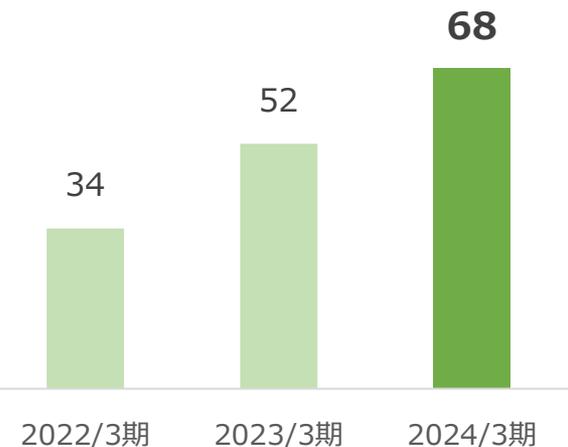
預金は10年間で2兆円増加

■ 総預金平残 (3行合算)



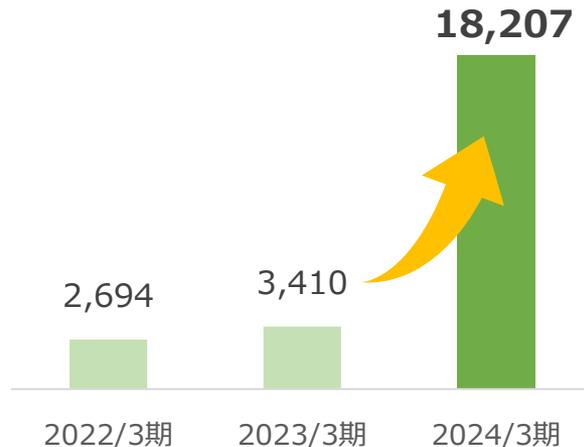
■ 入札アプリ累計DL数 (3行合算)

(単位: 万件)



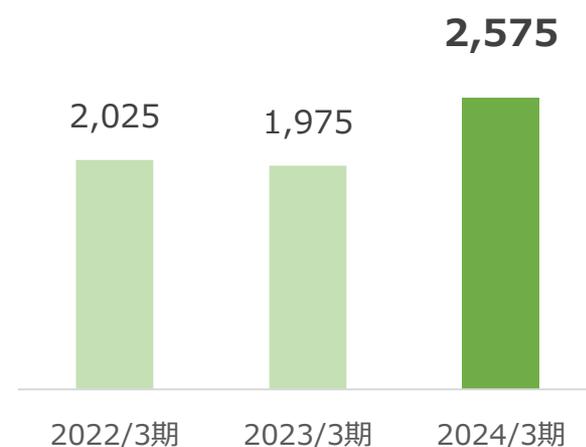
■ NISA口座新約数 (3行合算)

(単位: 件)



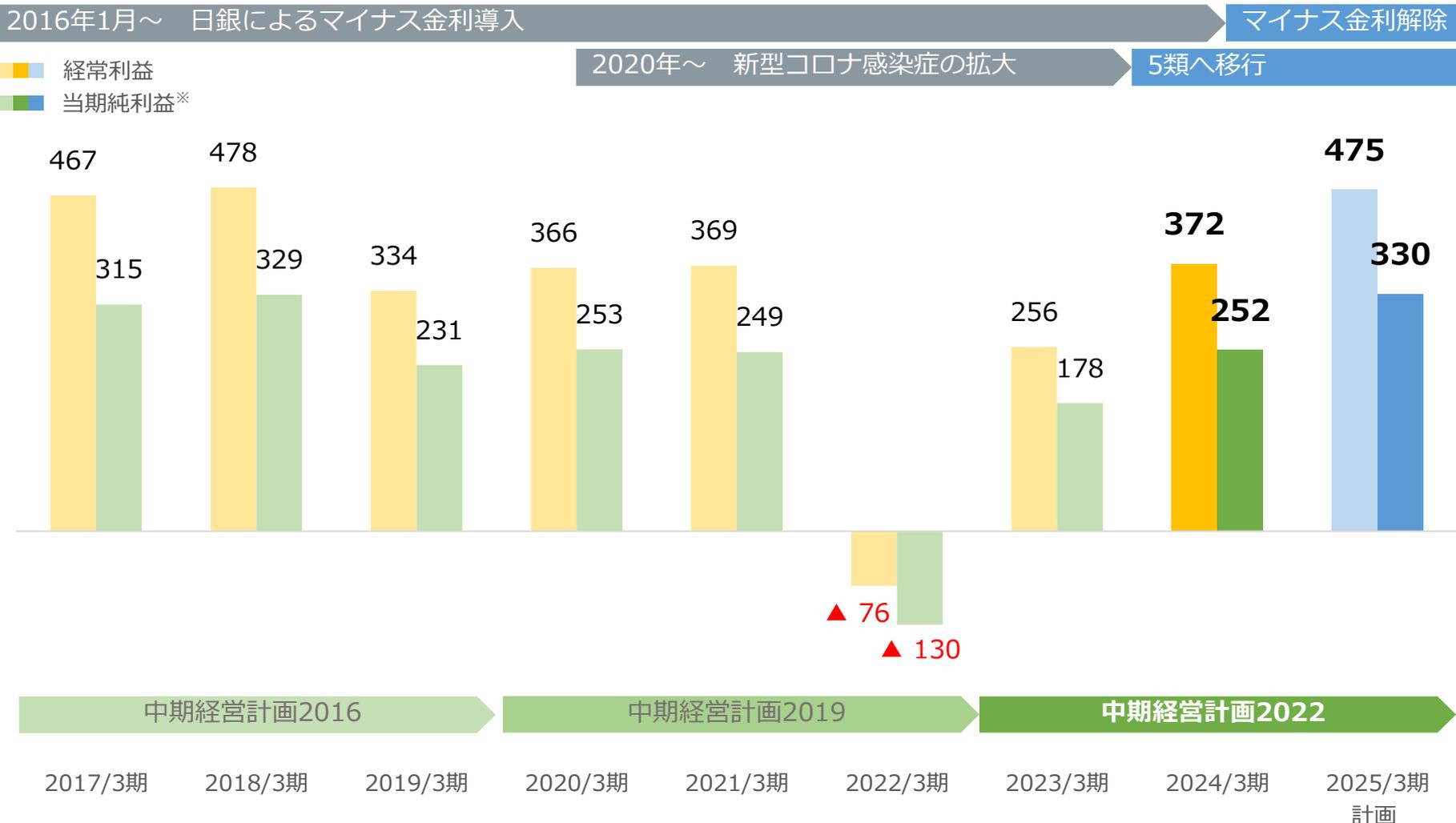
■ 投資信託残高 (FG連結)

(単位: 億円)



マイナス金利の解除など外部環境は改善

経常利益および当期純利益※ (FG連結) (単位：億円)



※ 親会社株主に帰属する当期純利益

現中期経営計画は1年目、2年目と計画指標を達成

経営基盤の再構築、および外部環境の改善により、
現中期経営計画最終年度の当期純利益は過去最高益を見込む

	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		
	計画	実績	計画	実績	計画	1Q実績	進捗率
経常利益	250億円	256億円	350億円	372億円	475億円	160億円	33.8%
当期純利益 ^{※1}	170億円	178億円	240億円	252億円	<u>330億円</u>	115億円	34.8%
ROE	2.7%	2.9%	3.7%	4.0%	5.0%程度	7.1% ^{※2}	—

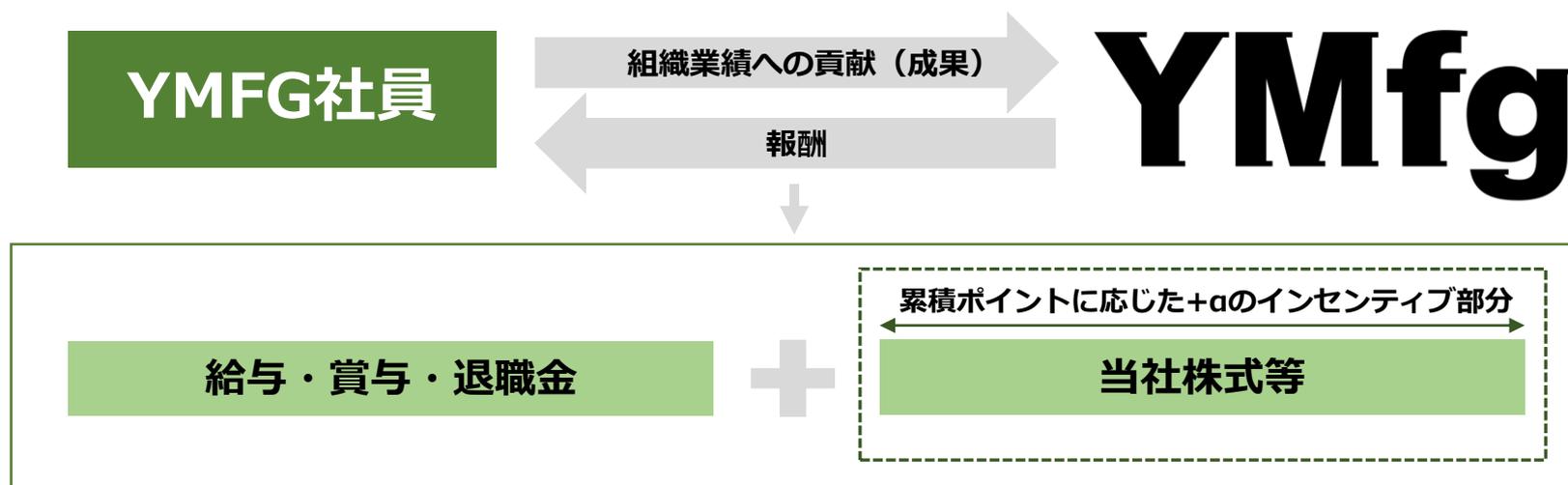
※1 親会社株主に帰属する当期純利益（2025年3月期1Q実績は四半期純利益）

※2 親会社株主に帰属する四半期純利益ベース

株価や業績と社員の処遇の連動性をより高める制度を整備

● 社員向け株式給付信託（J-ESOP）導入（2023年5月）

- ✓ 原則すべての社員を対象とし、組織業績へ貢献した社員に対しポイントを付与
- ✓ 社員は退職時に累積ポイントに相当する当社株式等を受領



● 従業員持株会の拠出金における奨励金の引き上げ

- ✓ 2023年10月、持株会への拠出金における会社からの奨励金を5%から10%へ引き上げ
- ✓ 全業種平均8.9%、銀行業平均6.2%を大きく上回る設計
- ✓ 現在、持株会対象社員のうち、83.6%（2024年4月末時点）が加入

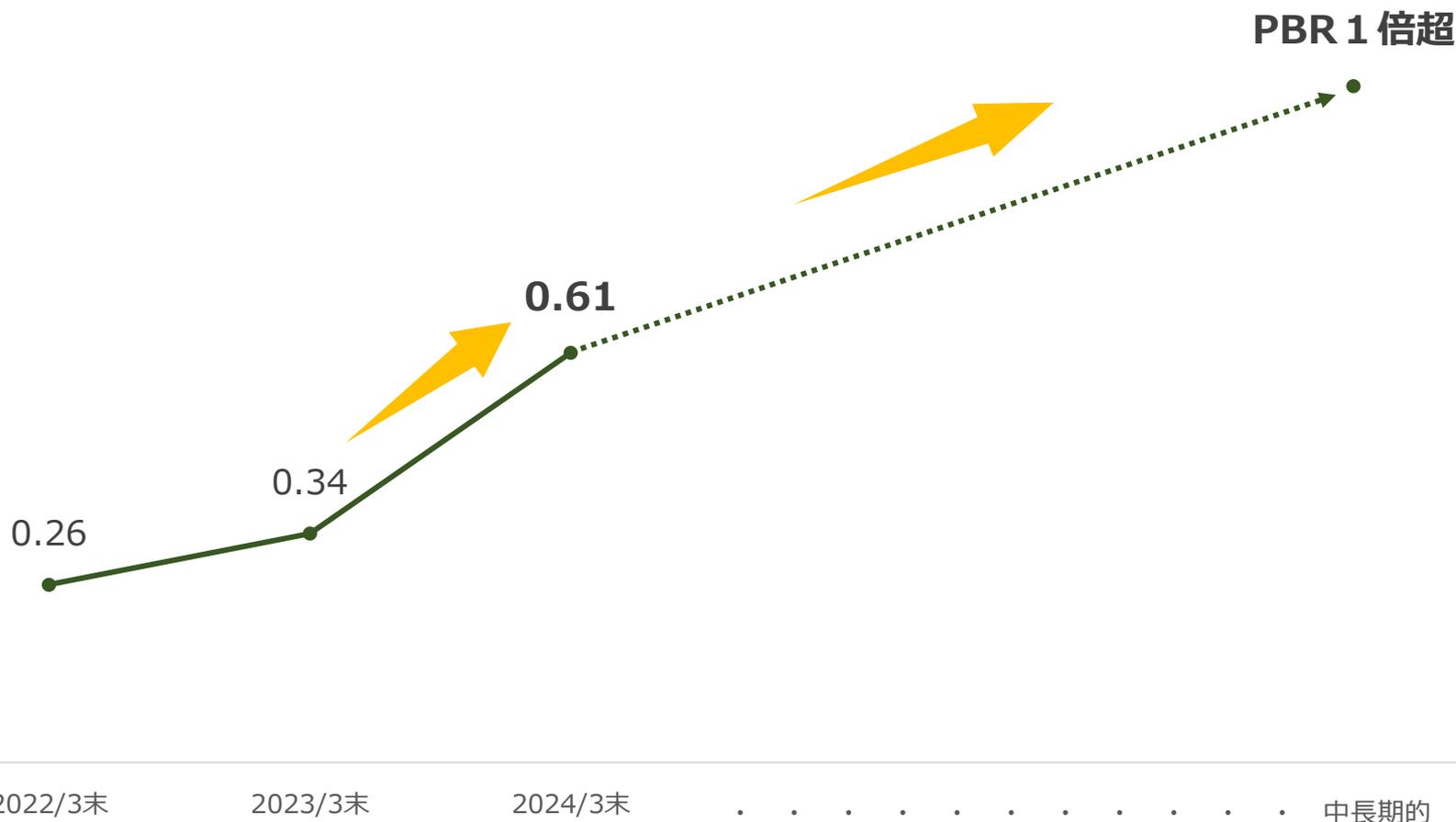
中期経営計画2022スタート以降、株価は上昇

株価推移



中長期的にPBR1倍超を目指す

PBR※の推移



※ 一株当たり純資産は自己株式を除く、株価は決算発表翌営業日の終値を基準に算出

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

Ⅲ. 株主還元

【株主還元方針】

配当性向

40%程度を目標

自己株式取得

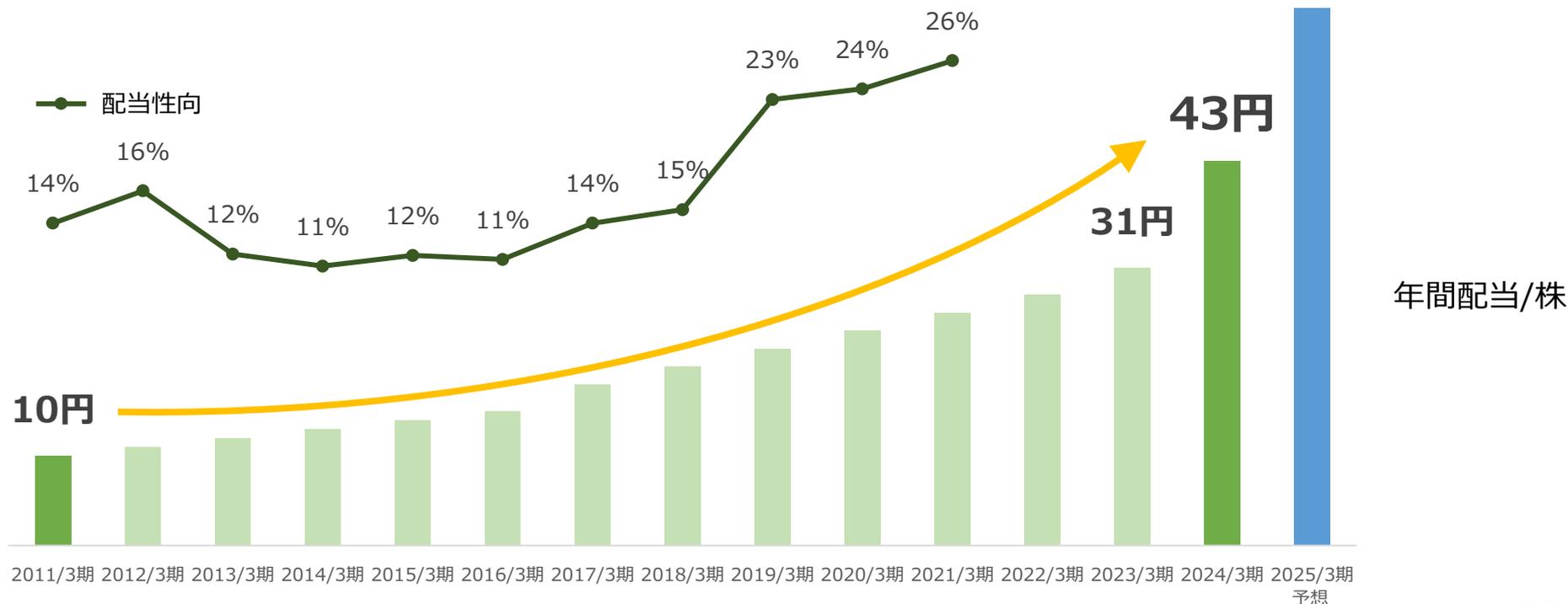
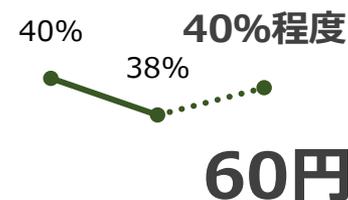
**市場動向・業績見通し等を勘案した
柔軟かつ機動的な自己株式の取得**

13期連続で増配を継続

年間配当/株・配当性向の推移

- ✓ 配当金額は**13年で4倍に増加**しており、
2024/3期まで**13期連続増配継続中**
- ✓ 2025/3期は一株当たり**17円増配の60円**を予想、
配当利回りは3.6%※

※ 2025/3期予想年間配当60円、株価は2024年8月30日の終値（1,683円）に基づき算出

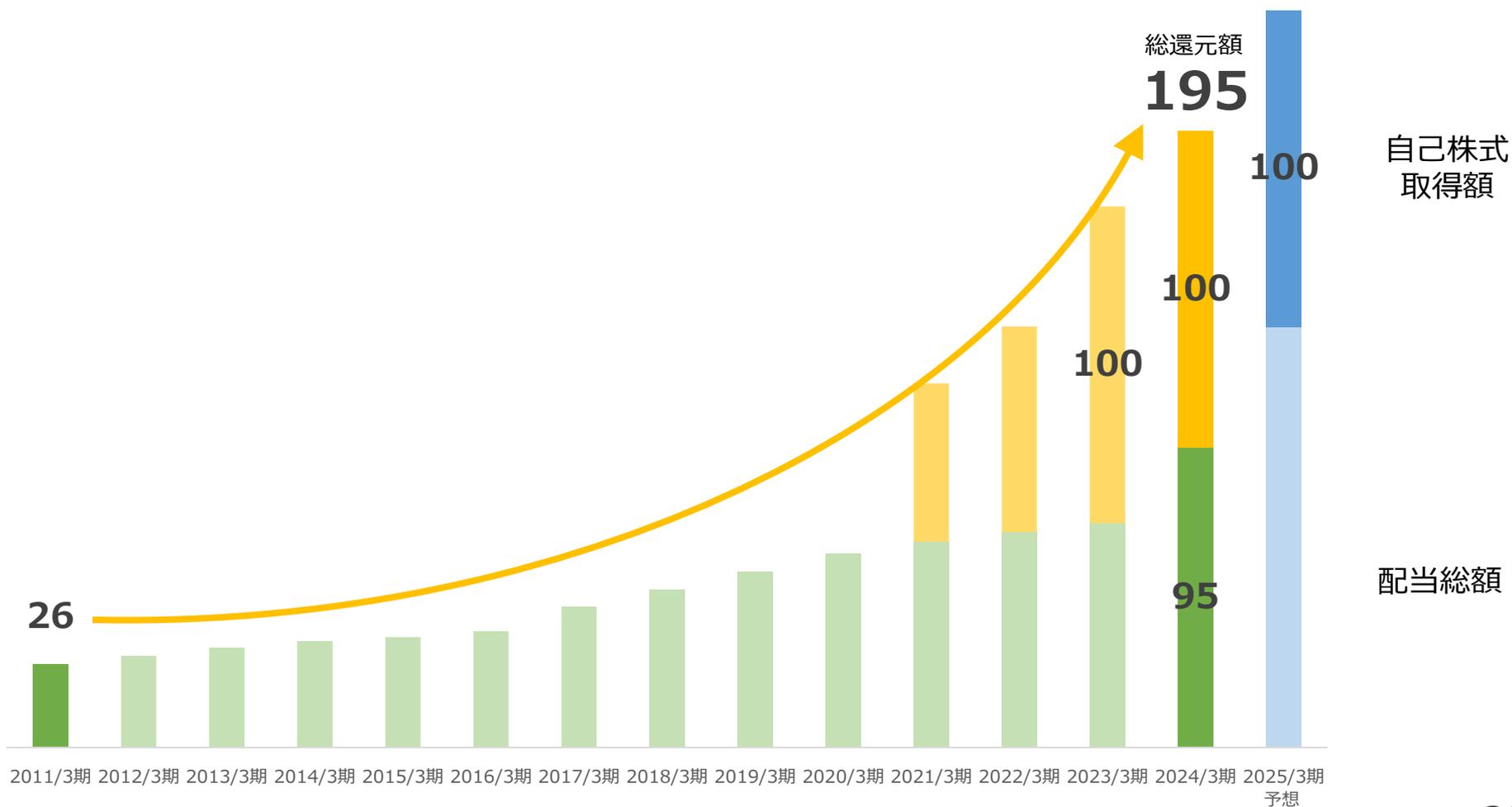


3年連続で自己株式取得額100億円を公表

配当総額・自己株式取得額の推移

(単位：億円)

- ✓ 総還元額は13年で約7.5倍に増加





株主優待カタログ

STOCKHOLDER BENEFIT CHOICE CATALOG 2024

[2024年度]

大切な株主さまへ、心を込めたおもてなし。



2024年
3月31日時点で
五千株以上お持ちの
株主さま

お申込期限

2024年8月31日(土)

※当日までにお申し込みください。

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

売買単位：100株
最低購入額：168,300円
(2024年8月31日時点)

株数

株主優待内容

5,000株～

カタログギフト
(10,000円相当)

1,000株～
5,000株未満

カタログギフト
(5,000円相当)

100株～
1,000株未満

QUOカード500円

※毎年3月末が基準日

※上記は2024年3月末基準の株主さまに対する優待内容

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

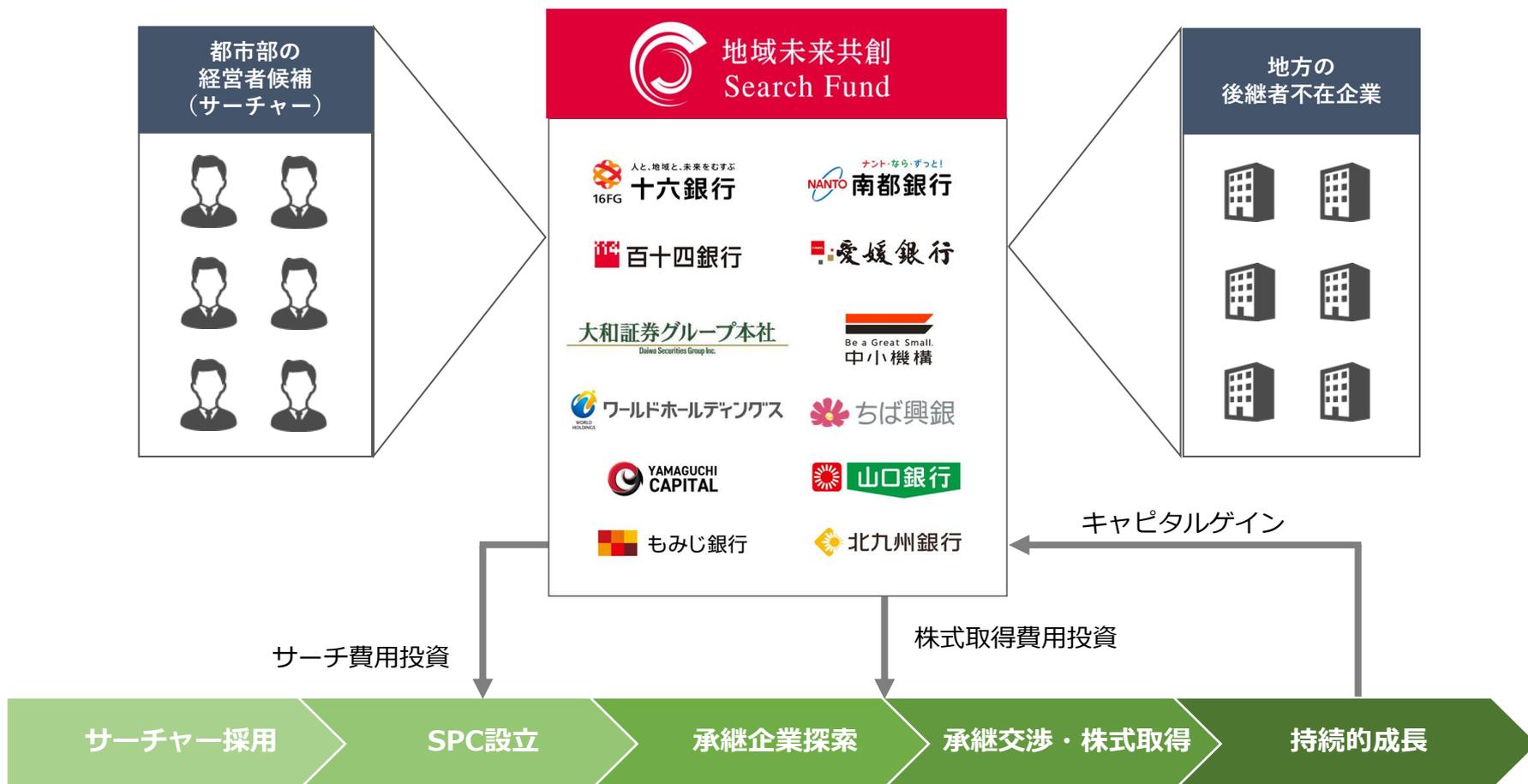
IV. 【ご参考】 YMFGの取り組み

国内でも先進的なSearchファンドの推進

● Searchファンド※活用による事業承継の実現

- ✓ 当社は**日本初**となるSearchファンド事業に取り組み、9社の事業承継を実現
- ✓ 2023年2月には山口県内初のSearchファンドを活用した事業承継を実現

※ Searchファンド：企業経営を志す経営人財に投資をし、企業のバリューアップを図る欧米発祥の投資モデル



● 老舗旅館を事業承継し、地域の「面的再生」を加速

- ✓ 長門湯本温泉は山口県で約600年の歴史を有する温泉郷
- ✓ 当社は「長門湯本温泉まちづくりファンド投資事業有限責任組合（長門湯本ファンド）」を活用して、株式会社Staple（広島県尾道市）とともに株式会社SOIL Nagatoyumotoに共同出資し、長門湯本温泉の老舗旅館「六角堂」を事業承継
- ✓ 当社グループ会社であるYMFG ZONEプランニングや山口キャピタルも参画し、グループ一体で温泉旅館の再生プロジェクトに取り組む



SOIL Nagatoyumoto完成イメージ図

【スキーム図】

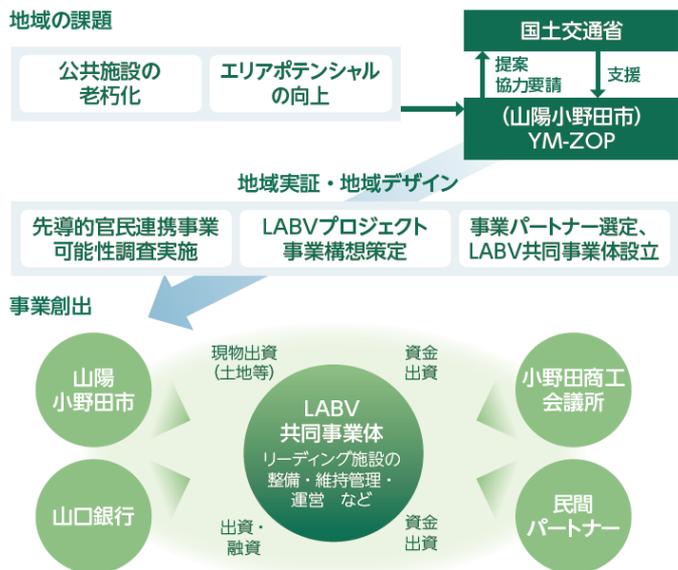


● LABV※を用いた全国初の取り組み

- ✓ 山陽小野田市にて当社グループが主体的に関与および支援してきた「山陽小野田市LABVプロジェクト」が進捗し、中核複合施設「A-SQUARE」がオープン
- ✓ LABVを用いたプロジェクトは全国初の取り組みであり、2023年2月に「2022年度地方創生SDGsの達成に向けた官民連携取り組み事例」において、最上位の賞である「内閣府地方創生推進事務局長賞」を受賞

※LABV Local Asset Backed Vehicle（官民協働開発事業体）の略。自治体が保有する土地の現物出資と民間事業者等からの資金出資を合わせて組成されるLABV共同事業体が実施する官民連携による手法

【山陽小野田市におけるLABV構造】



【2024年4月にオープンした複合施設「A-SQUARE」】

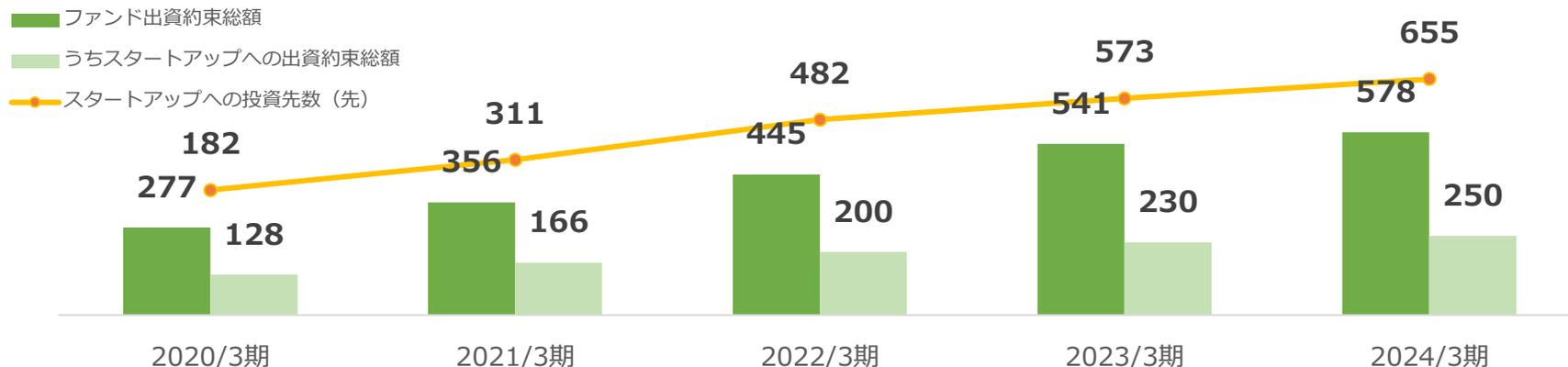


● スタートアップ企業やファンドへの投資

YMFGによる投資実績*

※山口キャピタルを含む、山口フィナンシャルグループ全体での投資実績

(単位：億円)



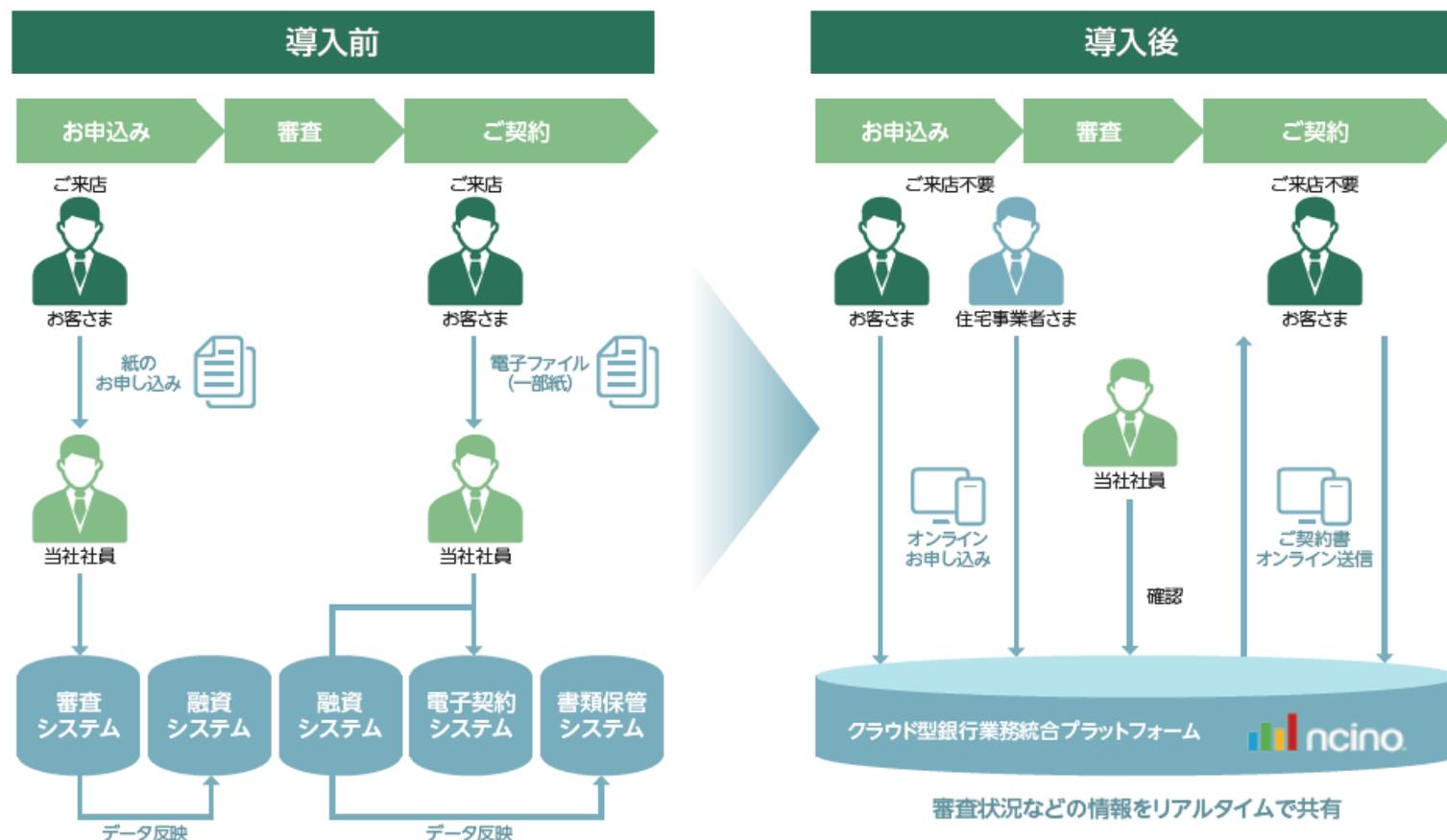
● 地方創生サミット「Shimonoseki Add-Venture Summit」開催

- ✓ 2024年6月に地域関係者（企業・行政・大学等）とスタートアップを繋げる地方創生サミット「Shimonoseki Add-Venture Summit (SAS)」を開催
- ✓ 2回目の開催となった今回は約1,000名が来場し、地域企業とスタートアップのビジネス上の繋がりを複数例創出



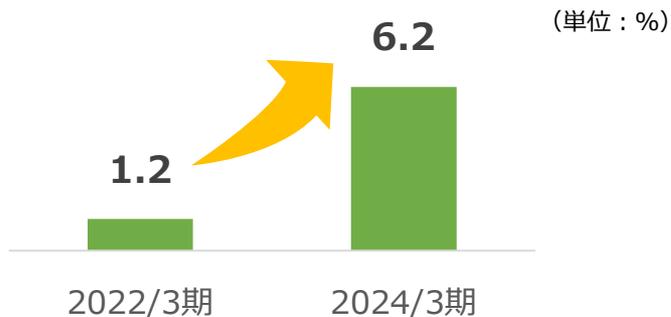
● クラウド型銀行業務統合プラットフォームの導入

- ✓ **地銀初**となる住宅ローン業務でのクラウド型銀行業務統合プラットフォームを2024年11月より運用開始予定
- ✓ 申込から契約までの業務プロセスを統合しWEBで完結することで、徹底的な効率化と顧客利便性の向上を図る



● 女性管理職・リーダー層への積極登用

女性管理職比率



リーダー層への女性登用率※



※ リーダー層への女性登用率 = 係長以上への女性登用者（期中） / 係長以上への登用者数（期中）

● 女性が活躍できる職場環境づくり

Women's Day

- ✓ 女性の前向きなキャリアの実現支援と社員同士のネットワーキングを目的に開催
- ✓ グループ役員との直接対話の機会も創出

女性管理職ネットワーク「なでしこ塾」

- ✓ 女性管理職同士の繋がり強化や相互支援・相互研鑽の機会創出を目的として、定期的で開催



● 人事制度の抜本的な改正

- ✓ 「年功序列型」であった昇格要件を改正し、個人の特性や能力を重視（2023年4月）
- ✓ グループ子会社では30～40代の社長が複数活躍
- ✓ 2025/3期には「職務を限定した専門コースの新設」、「等級制度の見直し」等の人事制度改正を行い、多様な人財の活躍をさらに加速

昇格要件改正

最低在任期間 × 廃止

昇格試験 × 廃止

「年功序列」から
「スキル・適正重視」へ

「銀行業務知識」だけでなく、
「多様な業務に合わせた専門性」を
考慮

● アルムナイ（中途退職者）ネットワークの構築（2023年10月）

- ✓ アルムナイと中長期的に良好な関係を構築
- ✓ アルムナイが他社などで得た知見やスキルを協業や社内イノベーションに活用

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく変更されることがあります。本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご注意ください。

【本資料に関するお問い合わせ先】
株式会社 山口フィナンシャルグループ
総合企画部 広報・IR室
TEL 083-223-5511
<https://www.ymfg.co.jp/>

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg